

# 「平和への提案大切」 折り鶴教室など海外活動



折り鶴教室などを通して海外で平和文化教育を発信する相川さん＝31日午後、広島市内

「サダコ」を主宰。アルゼンチンや近隣諸国で、子ども向けに折り鶴教室を開くなど平和文化教育を展開している。

広島平和記念公園にある「原爆の子の像」のモデル佐々木禎子さんが、亡くなるまで「生きたい」との願いを込め折り鶴を作り続けたという話はアルゼンチンでも有名という。

相川さんは折り鶴などの活動を通して「相手の目標としている平和を理解すること、押し付けではない平和に向けた提案を大切にしている」と強調した。今回、相川さんは子どもたちなどが作った折り鶴17匹を像にささげた。  
(横松敏史)

「ヒロシマ講座」  
相川さんが報告

とちぎ  
戦後70年  
広島から

広島市の被爆の実態などを学ぶ国内ジャーナリスト研修「ヒロシマ講座」講義

「ヒロシマについて」をテーマに講演した。「広島を知ることは未来を考えることにつながる」と南米での取り組みを紹介した。

相川さんは非政府組織(NGO)「フンダシオン